愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	佐々木 裕美	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「身近なところから始める私（たち）のSDGs」をテーマに、いかにして持続可能な社会を実現していくか？そのために自分（たち）に何ができるか？を考え、各自が一歩踏み出すことを一年間の目的とする。 到達目標は次の２つである。（１）社会の課題を自分の課題としてとらえることができる。（２）自分の身の回りからSDGsを実現するための課題を見つけ、取り組んで、その過程と成果について記録し、発表できる。 2030年までに世界が達成すべき17の目標と169のターゲットの中から自分の興味ある分野を選んで、探求し、考え、行動するというPDCAを回していく。したがって、毎回の授業では、演習仲間とのシェアを通して、お互いの意見に耳を傾け、自分の意見を発信することが期待される。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	毎回の授業では、各自がテーマに沿ってプレゼンテーションを行う。したがって、初めの数回は、プレゼンテーションに慣れるための講義とノートの取り方の練習を重ねる。なぜSDGsが「世界で」達成すべき「持続可能な開発目標」なのかを理解するために、グアム島においてSDGsの普及活動を行う外部講師を招いて学ぶ予定である。また２回程度メディア授業を実施する予定である。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	後期授業の進め方（クラスルールの共有と自己紹介）、前期と夏休みの振り返り、後期の目標設定	前期の振り返りをした後、後期の目標設定を行う 演習仲間とのアイスブレイク	□
第2回	１週間の振り返り 本学の交流提携校グアム大学のSDGsへの取り組み紹介（１）水源の確保	前週の振り返り、課題の発見、行動決定	□
第3回	１週間の振り返り 本学の交流提携校グアム大学のSDGsへの取り組み紹介（２）植樹	前週の振り返り、課題の発見、行動決定	□
第4回	１か月の振り返り 本学の交流提携校グアム大学のSDGsへの取り組みまとめ	1か月の振り返り、課題の発見、行動決定 ノートを取って発表する	□
第5回	外部講師（予定）（日程は前後する可能性がある。調整後に決定） 学びを紙１枚にまとめる	前週の振り返り、課題の発見、行動決定	□
第6回	１週間の振り返り、「私のSDGsへの取り組み」についての探究、グループ活動	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 ノートを取る、調べて深める	□
第7回	１週間の振り返り、「私のSDGsへの取り組み」についての探究、ノート作成	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 調べたことについて話し合い、聞き合う	□
第8回	2か月目の振り返り・目標設定	２か月目の振り返り、課題の発見、行動決定 プレゼンをし合い、聞き合う	□
第9回	1週間の振り返り、３分間プレゼンテーション 「私のSDGsへの取り組み」についてプレゼンノート作成	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 調べてポイントを書き出すノートを取る、不足箇所を調べて深める	□
第10回	1週間の振り返り、３分間プレゼンテーション、 「私のSDGsへの取り組み」についてプレゼンノート作成	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 プレゼンノートを作る	□

第11回	1週間の振り返り、３分間プレゼンテーション 「私のSDGsへの取り組み」についてレポート作成	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 各自の課題について聴きあい、確認する	□
第12回	３か月目の振り返り、３分間プレゼンテーション 「私のSDGsへの取り組み」のプレゼンノート完成	３か月目の振り返り、課題の発見、行動決定 プレゼンノートを完成させる	□
第13回	１週間の振り返り、５分間プレゼンテーション 「私のSDGsへの取り組み」のプレゼンノートをパワポにする	前週の振り返り、課題の発見、行動決定 プレゼンノートで作成したパワポを使って発表する	□
第14回	ゼミ交流会	各ゼミの発表をシェアする	□
第15回	１年間の振り返り・春休みの計画・来年度の目標設定	２年次の振り返り、課題の発見、行動決定 また、３・４年次の目標設定を行う	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

毎日の記録を取ることが、授業の予習となる。（毎日15分程度） 各自、SDGsをテーマに自由に題材を選んで自分のプレゼンテーションを作成する。題材は、毎回変えても良いし、同じものを深めても良い。（30分）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業の冒頭には、毎回前週の振り返りを行い、常に軌道修正を行いながら、翌週の行動を決定する。 すべてノートに書いて、SDGsのテーマを念頭に、行動し、振り返り、次につなげる。 従って、毎回の授業では、ノートに書くことと、簡単なプレゼンテーションをすることが求められる。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	学びの基礎となる社会、文化、自然等に関連する幅広い知識を、企業や市町村などのSDGsへの取り組みを通して習得しながら専門知識を育み、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	基礎学力を踏まえた専門知識と自らの経験を基に、SDGsについて創造的に考えたうえで、自分の身の回りの課題を発見し、事実を調べて、的確に判断し、自分なりの考えを表現、発信することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	多様な人々の中で自己を理解し、主体的に他者と協働して、ノートを書くことによって問題を解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内：SDGsをテーマに自分で課題を発見し、考え、行動することでPDCAを回す。毎日ノートを取って記録し、毎回の授業でプレゼンテーションを行うことが求められる。
その他：最後のレポート作成とプレゼンテーションによって評価する

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内で指示する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	中山京子『グアム・サイパン・マリアナ諸島を知るための54章（エリア・スタディーズ 105)』	
2	大野 俊 『観光コースでないグアム・サイパン』（高文研）	
3	横井庄一『明日への道ー全報告グアム島孤独の28年（1974年）』	
4	中山京子『入門 グアム・チャモロの歴史と文化ーもうひとつのグアムガイトー』（明石書店）	
5	山口誠『グアムと日本人ー戦争を埋立てた楽園 』（岩波新書）	